

トピックスターミナル

TX-0870

取扱説明書

第1版 2011年05月25日

第2版 2011年06月21日

第3版 2018年01月26日

第4版 2018年04月13日

第5版 2023年02月27日

ご注意

1. 本書は、製品の改良 その他により適宜改訂する可能性があります。
2. 許可なく 複製、改変などを行わないで下さい。

目次

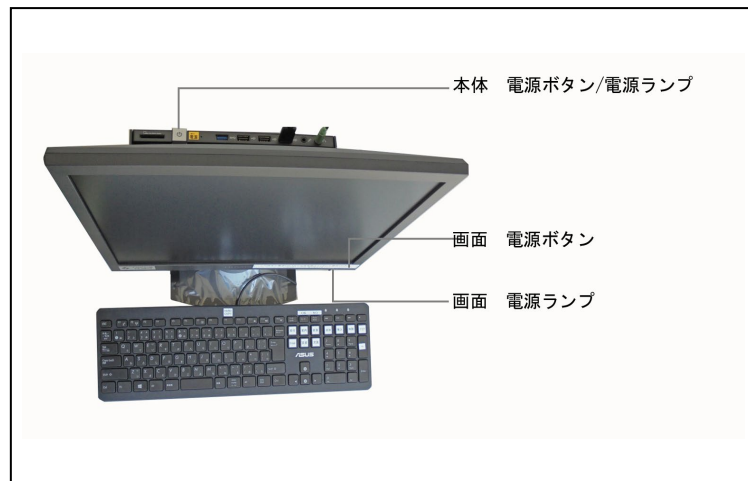
1. 起動／終了	3
1.1. TX-0870の起動.....	3
1.2. TX-0870の終了.....	4
1.3. 画面切替.....	5
1.3.1. ワイド画面.....	5
1.3.2. 全画面.....	6
2. キーボード操作	7
2.1. キーボードの配列 および キーについて.....	7
2.2. 漢字入力操作.....	11
3. 各種設定	13
3.1. 画面・キーボード 設定.....	13
3.1.1. 設定メニューの操作.....	13
3.1.2. 処理別詳細.....	14

[使用字母] リョービマジクス株式会社の字母をもとに株式会社リコーがデザイン制作したリコーベクターフォントを使用しています。

[制約事項] グラフィック罫線は表示できません。

余白ページ

1. 起動／終了



1.1. TX-0870の起動

TX-0870の電源を入れ、キーボード操作が可能となるまでの操作手順を説明します。

■ 操作説明

- 1) 電源を“ON 状態”にします。

本体の電源ボタンを押します。

※ 本体の電源ボタン上の電源マークが白色に点灯したのを確認して下さい。

画面の電源ランプが消灯している場合は、画面の電源ボタンを押し、電源を入れてください。

- 2) しばらくすると、ターミナルが起動し画面上部にバージョン情報が表示されます。

```
TxTerm V2.0.1. TTY
```



カーソル点滅

TOPIX コントローラーが稼働中の場合は、**Enter** キーを押して下さい。

“login:” が表示されます。

以上で使用可能となりました。

1.2. TX-0870の終了

TX-0870の電源を切る際の操作手順を説明します。

■ 操作説明

- 1) 起動していた処理を終了させます。
- 2) 電源を“OFF 状態”にします。

“login : ”が表示された状態で、本体の電源ボタンを押します。
※ 本体の電源ランプ（白色）が消灯するのを確認して下さい。

以上で全て終了しました。

1.3. 画面切替

1.3.1. ワイド画面

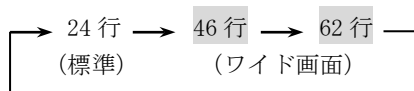
パッケージシステムを使用する際、処理画面の表示行数を変更することができます。

縮小文字を使用することで表示行数を増やした画面を、**ワイド画面**といいます。

ワイド画面には2種類の行数がありますが、標準画面とこれらを切替えるための操作手順を説明します。

■ 操作説明

- 1) 各種メニューで、実行したい処理を選択する前に、**前頁** (Page Up) または **次頁** (Page Down) キーを押して下さい。キーを1回押す度に、処理画面の行数が切替わります。
ワイド画面モードの間は、メニューの“処理No.”の右に処理画面の行数が表示されています。



- 2) メニューから処理を選択し、実行します。
処理画面が 1) に合わせて表示されます。

INDEX	回取開始日	回取開始便	回取開始核番	回取終了核番	仕入先	変入	首番号	品番	取容量	回取枚数
1.	0	00/00/00	00	0	0	0001-0	A1	3255 73215-33515-55351	200	1
2.	0	00/00/00	00	0	0	0001-0	A1	123 AAAAA-AAAAA-AAAAA	1	0
3.	0	00/00/00	00	0	0	0001-0	A2	1234 11111-22222-33333	100	3
4.	0	00/00/00	00	0	0	0001-1	A1	0000 11111-11111-11111	300	0
5.	0	00/00/00	00	0	0	0001-1	A1	1234 11111-22222-33333	100	0
6.	0	00/00/00	00	0	0	0001-1	A1	3333 33343-33135-33251	170	0
7.	0	00/00/00	00	0	0	0001-5	01	12345-67890-	1	0
8.	0	00/00/00	00	0	0	0001-6	02	98765-43210-	1	0
9.	0	00/00/00	00	0	0	0117-0	U1	S001 01170-A2001-0517A	10,000	0
10.	0	00/00/00	00	0	0	0117-0	U1	S002 01170-A2001-0517B	10,000	0
11.	0	00/00/00	00	0	0	0117-0	UK	S003 01170-A2001-0517C	20,000	0
12.	0	00/00/00	00	0	0	0117-0	UK	S004 01170-A2001-0517D	15,000	0
13.	0	00/00/00	00	0	0	0117-0	UK	S005 01170-A2001-0517E	30,000	0
14.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	A1	W123 10000-00000-00001	300	3
15.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	A1	A005 10000-00000-00002	300	3
16.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	A1	A003 10000-00000-00003	100	3
17.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	A1	A005 10000-00000-00004	100	3
18.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	A1	Y000 10000-00000-00005	300	3
19.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	D001 10000-00000-00001	10	0
20.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	D002 10000-00000-00002	100	1
21.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	E002 12120-00000-00000	150	0
22.	2	01/07/23	01	0	0	0587-3	01	E002 13000-00000-00000	100	0
23.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	E003 13200-00000-00000	200	0
24.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	E004 14100-00000-00000	300	0
25.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	E005 15100-00000-00000	300	0
26.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	01	E001 20000-00000-00000	3	0
27.	2	00/00/00	00	0	0	0587-3	A1	E001 10000-00000-0000	500	0
28.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	J1	J001 10000-00000-00000	500	0
29.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	K1	K001 10000-00000-00000	500	1
30.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	L1	L001 10000-00000-00000	500	1
31.	2	01/07/19	01	0	0	0587-3	M1	M001 10000-00000-00000	500	0
32.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	P1	P001 10000-00000-00000	500	2
33.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	T1	S002 20000-00000-00001	500	2
34.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	U1	U001 10000-00000-00000	500	1
35.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	U1	S002 20000-00000-00002	500	0
36.	2	01/07/13	01	0	0	0587-3	W1	W001 10000-00000-00000	500	0
37.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	W1	S001 10000-00000-00005	500	0
38.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	W1	S002 20000-00000-00000	500	0
39.	0	00/00/00	00	0	0	0587-3	Y1	Y001 10000-00000-00000	500	3

1.3.2. 全画面

タイトルバー、メニューバーを取除いたTxTermのウィンドウを、PC画面全体まで拡張した画面を、**全画面**といいます。

使用中に、通常の全画面表示とウィンドウ表示を切替えた時の状態を紹介します。

< 全画面表示 (通常使用時) >

```

ta:BL-2 Ver. 1.3      仕入先マスタ      照会 TOPICS (金) 08/02 18:27
                        使用件数 : 114 削除件数 : 1
仕入先: 0001-0      発注時間 : 00:01~24:59 (00:00 は処理対象外)
-[ADR: 00003]-      [00003 : 1]- [縦画面]-
  仕入先..... 0001-0
  1. 仕入先名..... トピックス株式会社A
  2. フォットNo..... 013
  3. サイクル..... 1-04-001
  4. 次回発注日..... 00/00/00
  5. 背番号カナ..... 0
  6. 最終発注日..... 02/07/23
  7. 最終発注便..... 01
  8. ホストNo.....
  9. キャンダ-No..... 0 AAA
 10. 発注ファイル作成フラグ..... 1
 11. かん明細フラグ..... 1
 12. かん明細控フラグ..... 0
 13. 納品書フラグ..... 1
 14. 箱種一覧フラグ..... 0
 15. 0件明細フラグ..... 0
 16. 発注実績作成フラグ..... 0
 17. 受入実績作成フラグ..... 1
 18. 受領書フラグ..... 1
 19. 納入遅延フラグ..... 1
 20. FAX送信フラグ..... 0
 21. 仕入発注実績フラグ..... 0
 22. 仕入受入実績フラグ..... 0
 23. 納品書明細点数..... 05
 24. 発注帳票出力先..... 5
                        かん 発注
                        ST_ADR : 00003 00001
                        ED_ADR : 00030 03553
                        件数 : 6 73
                        【 発注時間 】
                        25. 09:00 37.
                        26. 12:00 38.
                        27. 15:00 39.
                        28. 17:00 40.
                        29. 41.
                        30. 42.
                        31. 43.
                        32. 44.
                        33. 45.
                        34. 46.
                        35. 47.
                        36. 48.
  [フリガナ(OK/NO/No.?) _]

```



左 **Alt** キーを押しながら **Enter** キーを押すことで切替わります。

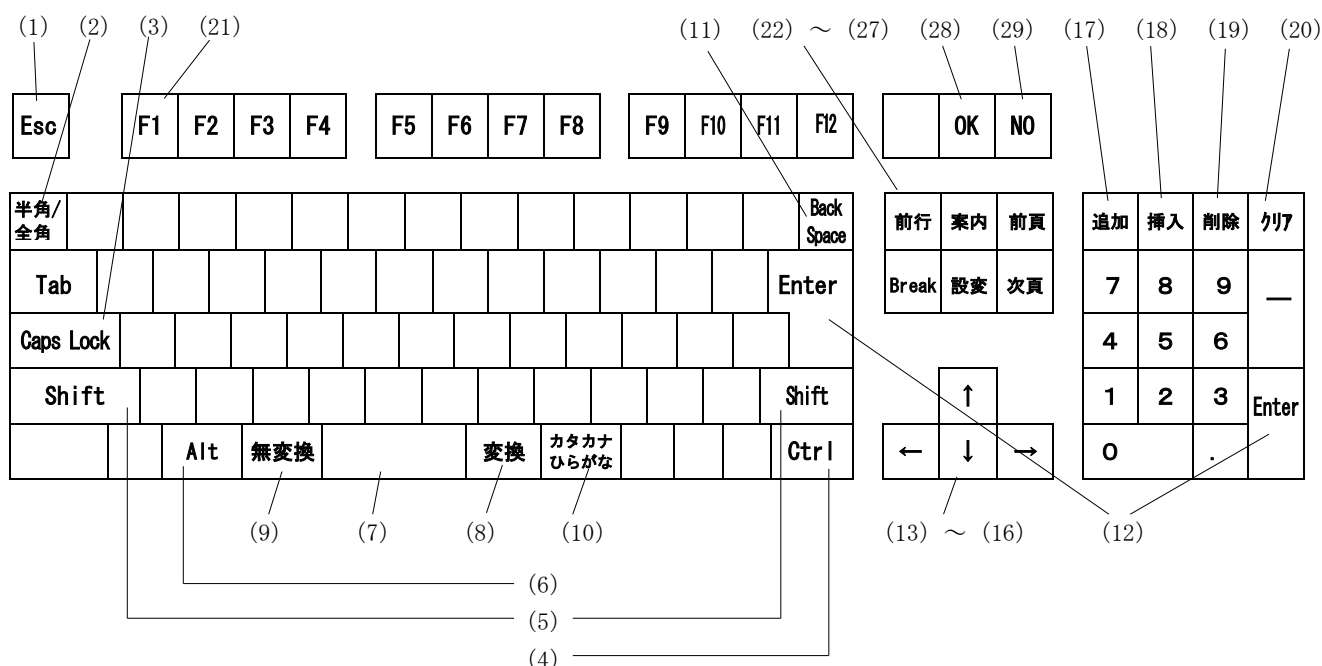
< ウィンドウ表示 >

2. キーボード操作

2.1. キーボードの配列 および キーについて

キーボードの配列と使用頻度の高いキー および 複合キーの機能を説明します。







■ キーボードの配列



※左 **Ctrl** キー、右 **Alt** キーは使用出来ません

■ キーの機能

- (1) エスケープキー …… 入力データの取消および、再表示に使用します。
- (2) 半角/全角キー …… かな漢字入力切替えキー。かな漢字変換モードの起動と終了を行います。1回押すとかな漢字変換文字の入力となり、もう一度押すと、かな漢字変換モードが終わります。
- (3) ロックキー (CAPS LOCK) …… 英大文字/小文字のロックキー。通常は小文字。ON状態で大文字入力になります。
- (4) 右コントロールキー …… 他のキーとの組み合わせによる複合キーに使用します。
- (5) シフトキー …… Shift状態で割り当てられた文字を入力するときに使用します。
(例) ‘/’ 入力は、Shift状態で ‘?’ になります。
- (6) 左オルトキー (Alt) …… ローマ字入力モード、かな入力モードの切替えて使用します。

- (7) スペースキー …… 空白を1桁入力します。かな漢字変換モードでは、変換キーとなります。
- (8) 変換キー …… かな漢字変換モードでの変換キー。
- (9) 無変換キー …… かな漢字変換モードでの変換キー。入力文字を全角、半角に変換するときに使用します。
- (10) カタカナ ひらがなキー …… カタカナ入力モード、ひらがな入力モードの切替えを行います。
- (11) バックスペースキー …… 左矢印キー (←) と同様、カーソルを左に移動します。
- (12) エンターキー …… 入力確定キー。(データ入力の終了、カーソル以降のデータも取り込みます)
- (13)  キー …… カーソル上移動キー。カーソルを1つ前の項目に移動します。
- (14)  キー …… カーソル下移動キー。カーソルを1つ後の項目に移動します。
- (15)  キー …… カーソル左移動キー。ひとつの項目内で、カーソルを1文字左に移動します。
- (16)  キー …… カーソル右移動キー。ひとつの項目内で、カーソルを1文字右に移動します。
- (17) 追加キー (Num Lock) …… 1文字追加キー。このキーを押す度に1文字ずつ追加することができます。
- (18) 挿入キー (／) …… 連続挿入キー。連続挿入の起動と終了を行います。1回押すとその後に入力した文字が挿入され、もう一度押すと、連続挿入モードが終わります。
- (19) 削除キー (*) …… 1文字削除キー。このキーを押す度に1文字ずつ削除することができます。
- (20) クリアキー (—) …… クリアキー。入力データの取消と再表示に使用します。
- (21)  キー …… 右  キーと同時に押すことで、設定メニューを起動します。
- (22) 前行キー (Insert) …… 画面が1行上方へスクロールします。
- (23) Break キー (Delete) …… 処理中断キーです。
- (24) 案内キー (Home) …… 項目案内を起動します。
- (25) 設変キー (End) …… 表示設定変更を起動します。
- (26) 前頁キー (Page Up) …… 前画面に移動します。
- (27) 次頁キー (Page Down) …… 次画面に移動します。

(28) OKキー (Scroll Lock) …… 肯定キー。 が設定されています。

(29) NOキー (Pause/Break) …… 否定キー。 が設定されています。

■ 特殊キー、他

(1) 全画面/ウィンドウ切替 …… 左 +

1回押す度に全画面表示/ウィンドウ表示が切替わります。

(2) HOLD SCREEN キー …… 右 +

1回押す度に画面 STOP モードの ON/OFF が切替わります。

(3) 強制 BREAK キー …… 右 +

BREAK キー同様に処理を中断しますが、以後の画面表示データを棄却します。

※ 高速通信 (TELNET) 時、特に有効です。

(4) 再接続 …… 右 + +

現在の接続を取りやめ、接続し直します。

(5) オプション選択 …… 左 +

メニューバーから [オプション] を選択します。

(6) ヘルプ選択 …… 左 +

メニューバーから [ヘルプ] を選択します。

(7) 半頁上移動 …… 右 +

半画面スクロールして上方へ移動します。

(8) 半頁下移動 …… 右 +

半画面スクロールして下方へ移動します。

■ 代替キー

以下のキーは、次のようなキーで代替することができます。

(1) OKキー (Scroll Lock) ……

(2) NOキー (Pause/Break) …… または

※ テンキーの キーは、+キー設定により“+”，“-”以外が設定されている場合は機能しません。また、テンキーの キーは、PFキーとして設定されている場合は機能しません。

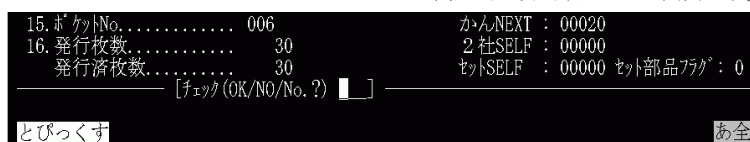
(『3.1.2. 処理別詳細』の [4] 詳細 [P.3-6] 参照)

- (3) 前頁キー (Page Up) …… 右 Ctrl + b
- (4) 次頁キー (Page Down) …… 右 Ctrl + f
- (5) 前行キー (Insert) …… ↑ または 右 Ctrl + y
- ※ 次行キー …… ↓ または 右 Ctrl + e

2.2. 漢字入力操作

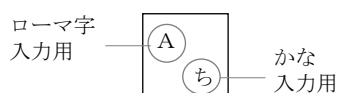
漢字やひらがななどの日本語を効率よく入力するため、**かな漢字変換システム**を採用しています。入力した文字は目的に応じて‘ひらがな’‘カタカナ’‘漢字’‘全角’‘半角’に変換することができます。

※下記は文字入力サンプル画面です。



■ 操作説明

- 1) **半角/全角** キーを押して、漢字入力モードにします。画面右下に“あ全”などの入力文字属性が表示されます。これらが表示されている間は、漢字入力モード（かな漢字変換モード）となっています。再び **半角/全角** キーを押すとこの表示が消え、漢字入力モードが終了します。
- 2) ローマ字、かなのどちらの文字モードで入力するかを選択します。文字モードの状態は、後述 3) の属性表示にてご確認ください。左 **Alt** キーと **カタカナ ひらがな** キーを同時に押すと、文字モードが切替わります。



- 3) 文字を入力します。以下のキーを押すと、入力文字属性が切替わります。

< ローマ字入力モードの場合 >

属性表示

- **カタカナ ひらがな** …… ローマ字をひらがなに変換しながら入力します。 : **あ全**
- **Shift** + **カタカナ ひらがな** …… ローマ字をカタカナに変換しながら入力します。 : **ア全** **ア半**
- **Caps Lock** …… キーボード上の英字を入力します。 : **A全** **A半**
- **無変換** …… 1回押す度に入力文字属性がひらがな、全角カタカナ、半角カタカナに切替わります。
⇒ [**あ全** → **ア全** → **ア半**]
- **Shift** + **無変換** …… 1回押す度に入力文字属性が全角英字、半角英字に切替わります。
⇒ [**A全** → **A半**]

< かな入力モードの場合 >

属性表示

- **カタカナ ひらがな** …… キーボード上のかな字をひらがなで入力します。 : **かな**

- **Shift** + **カタカナ ひらがな** …… キーボード上のかな字をカタカナで入力します。 : **カナ** **かな**
- **Caps Lock** …… キーボード上の英字をで入力します。 : **A全** **A半**
- **無変換** …… 1回押す度に入力文字属性がひらがな、全角カタカナ、半角カタカナに切替わります。
⇒ [**かな** → **カナ** → **かな**]
- **Shift** + **無変換** …… 1回押す度に入力文字属性が全角英字、半角英字に切替わります。
⇒ [**A全** → **A半**]

4) 漢字変換します。

- **スペース** or **変換** …… 漢字変換します。
再度押すと他の候補が表示されるので、スペースキー、変換キー、矢印キー、または番号により選択します。
- **無変換** …… 漢字変換せず、入力文字を直接変換します。
1回押す度にひらがな、全角カタカナ、半角カタカナに切替わります。
- **Shift** + **無変換** …… 漢字変換せず、入力文字を直接変換します。
1回押す度に全角英字、半角英字に切替わります。
- **Esc** …… キャンセルします。1回押すと、変換前であれば入力文字を全て取消し、変換後であれば変換前に戻ります。

5) 変換された文節の文節区切りを修正する場合、文節の対象文字範囲を調整し、4)の変換を行います。これを文節毎に繰り返します。

- **←** …… 前の文節に移動します。
- **→** …… 後の文節に移動します。
- **Shift** + **←** …… 文節を短くします。
- **Shift** + **→** …… 文節を長くします。
- 右 **Ctrl** + **←** …… 先頭の文節に移動します。
- 右 **Ctrl** + **→** …… 末尾の文節に移動します。

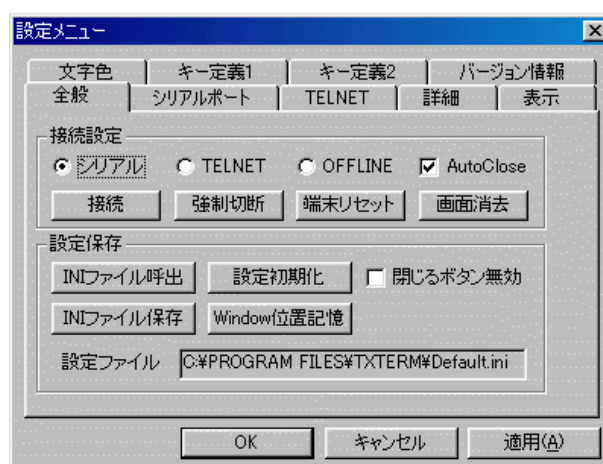
6) 変換された文字を確定したい時、また、変換せずに（入力文字の状態）で確定したい時は、**Enter** キーを押します。

3. 各種設定

3.1. 画面・キーボード 設定

3.1.1. 設定メニューの操作

各種設定処理を行う設定メニューの、起動、処理選択、終了の操作を説明します。



■ 操作説明

- 1) 使用中の画面で 右 **Ctrl** キーを押しながら **F1** キー を同時に押すと、上記「設定メニュー」ダイアログボックスが表示されます。
- 2) 実行したい処理のパネルを **Tab** キーを押して選択します。
該当パネルが表示されるので、データ入力等の操作を行って下さい。
- 3) 各パネルの入力データを一旦設定する場合は、[適用] ボタンを押して下さい。
- 4) 終了する場合は、次のボタンを押して下さい。
 - [OK] …… 入力したデータが設定され、メニューが終了し、元の画面に戻ります。
 - [キャンセル], [X] …… 入力したデータはキャンセルされ、メニューが終了し、元の画面に戻ります。

[注意] 3)、4) の設定内容は、起動中の T x T e r m においてのみ有効になります（設定ファイルの更新は行いません）。

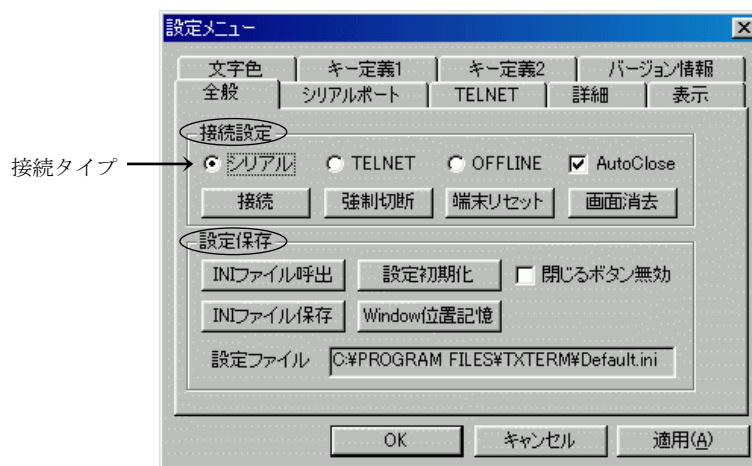
3.1.2. 処理別詳細

設定メニュー内の各処理の入力項目等を説明します。

[1] 全般

接続に関する全般的な管理を行います。

「接続設定」、「接続保存」の各ボタンを押した際の動作等を紹介します。



■ 接続設定

① [接続]

指定した接続タイプで接続し直します。
“login :” 画面となります。

② [強制切断]

強制的にログアウトし、終了します。

③ [端末リセット]

端末をリセットします。
このため、TxTerm画面の表示は、一度消去されます。

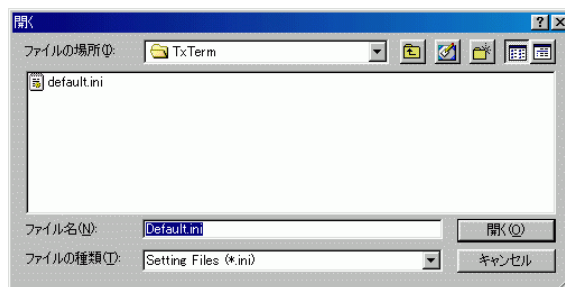
④ [画面消去]

TxTerm画面の表示が消去されます。

■ 接続保存

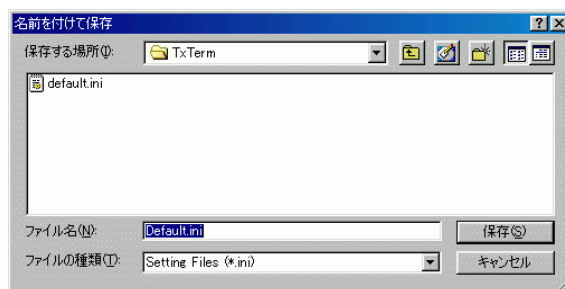
① [INI ファイル呼出]

「開く」ダイアログボックスが表示されます。
呼出したい設定ファイルを指定して下さい。
[開く] ボタンを押すと、読み込みが実行されます。



② [INI ファイル保存]

「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。
保存したい設定ファイルを指定して下さい。
[保存] ボタンを押すと、書き込みが実行されます。



③ [設定初期化]

呼出した設定ファイルの初期化を行います。

④ [Window 位置記憶]

T x T e r m画面のウィンドウ位置・サイズ変更後にこのボタンを押すと、次回起動時にも現在の位置・サイズで表示されます。

※ この情報は、現在呼出している設定ファイル（「全般」パネルの「設定ファイル」に表示されているファイル）に書込まれますが、② [INI ファイル保存] では反映されません。

よって、この操作の後で② [INI ファイル保存] を行い、操作時とは別名の設定ファイルを指定した場合、そのファイルには位置・サイズの変更情報は書込まれません。ここで指定ファイルに位置・サイズ情報も保存するには、② [INI ファイル保存] 後に、この操作を行って下さい。

■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	(接続タイプ)	・ <input type="checkbox"/> シリアル ・ TELNET ・ OFFLINE
2	AutoClose	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/> チェックあり：接続終了が自動的に行われます。 ・ <input type="checkbox"/> チェックなし：接続終了時にいったん待機します。 (“ -- 切断されました -- ” のメッセージと共にカーソルが点滅表示されます。 [×] ボタン、または 左 <input type="checkbox"/> Alt キーと <input type="checkbox"/> F4 キーを同時に押すと終了します。) ※TELNET 接続時のみ有効となります。
3	閉じるボタン無効	<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="checkbox"/> チェックあり：ウィンドウの [×] ボタン使用不可 ・ <input type="checkbox"/> チェックなし：ウィンドウの [×] ボタン使用可

[2] シリアルポート

TTY 接続時のシリアルポートの設定を行います。



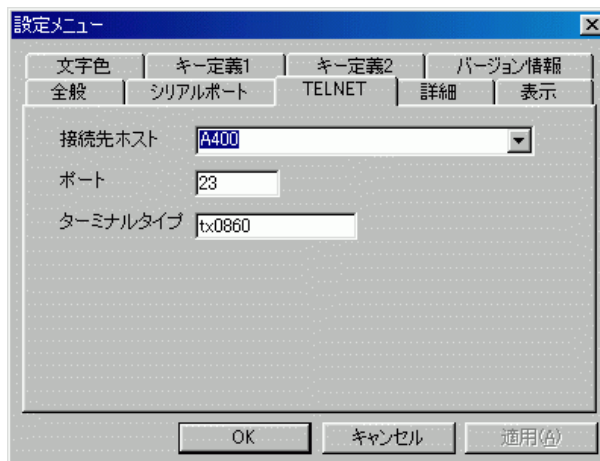
■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	通信速度	・ 1200 ・ 2400 ・ 4800 ・ 9600 ・ 14400 ・ 19200 ・ <input type="checkbox"/> 38400 ・ 56000 ・ 57600 ・ 115200
2	COM ポート	・ COM1: ・ COM2: ・ COM3: ・ COM4:
3	データビット長	・ 7 ・ <input type="checkbox"/> 8
4	パリティ	・ <input type="checkbox"/> なし ・ 奇数 ・ 偶数 ・ マーク ・ スペース
5	ストップビット	・ <input type="checkbox"/> 1 ・ 1.5 ・ 2
6	フロー制御	・ <input type="checkbox"/> なし ・ CtsRts ・ CtsDtr ・ DsrRts ・ DsrDtr ・ XonXoff

[3] TELNET

TELNET 接続時のホストとポートの設定を行います。



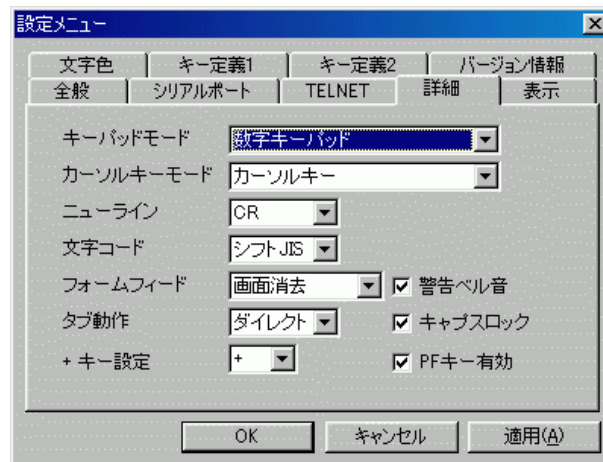
■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	接続先ホスト	0.0.0.0 ※ホスト名 または ホストアドレス を入力します。 ※起動時に引数でホストを指定した場合は、引数のホストが優先されます。
2	ポート	23 ※起動時に引数でポートを指定した場合は、引数のポートが優先されます。
3	ターミナルタイプ	tx0860 ※TELNET 接続の場合は必須となります。 ※[5]表示 の‘画面サイズ’に依存します。

[4] 詳細

端末の各種パラメータとキーボードの設定を行います。



■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	キーボードモード	・ 数字キーパッド ・ アプリケーションキーパッド
2	カーソルキーモード	・ カーソルキー ・ アプリケーションカーソルキー
3	ニューライン	・ CR ・ LF ・ CR + LF ・ LF + CR
4	文字コード	・ シフト JIS ・ EUC ・ UTF-8
5	フォームフィード	・ 画面消去 ・ ラインフィード
6	タブ動作	・ ダイレクト ・ スペース
7	警告ベル音	・ チェックあり : あり ・ チェックなし : なし
8	キャプスロック	・ チェックあり : 起動時に英字を大文字で設定します。 ・ チェックなし : 起動時に英字を小文字で設定します。
9	+キー設定	テンキーの+キーに設定する文字を指定します。 +キーを押した時、この設定文字が入力されます。 ・ + ・ - ・ / ・ * ・ ,
10	PF キー有効	・ チェックあり : 有効 NumLock, /, *, - キーを PF キーとして 使用できます。 ・ チェックなし : 無効 /, *, - キーは表記通りの用法となり、 PF キーとしては機能しません。 ※ノート PC 等テンキーのないキーボードを使用している場合、 `チェックなし` で設定して下さい。PF キーを有効にした 場合、一部の英字が数字で入力されます。

[5] 表示

画面表示に関する各種パラメータの設定を行います。



■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	画面サイズ	・ <input checked="" type="radio"/> 80x24 ・ <input type="radio"/> 132x24 ・ <input type="radio"/> 126x46 ・ <input type="radio"/> 168x62 ※桁 x 行
2	行挿入	・ <input checked="" type="radio"/> ブランク ・ <input type="radio"/> 属性保存
3	制御文字表示	・ チェックあり：表示 ・ チェックなし：非表示
4	カーソル表示	・ チェックあり：表示 ・ チェックなし：非表示
5	カーソル点滅	・ チェックあり：点滅 ・ チェックなし：点滅せず
6	サイズ変更時の画面記憶	・ チェックあり：記憶 ・ チェックなし：消去
7	画面反転	・ チェックあり：反転 ・ チェックなし：通常
8	ローカルエコー	・ チェックあり：あり ・ チェックなし：なし
9	オートラップ	・ <input checked="" type="checkbox"/> チェックあり：あり ・ <input type="checkbox"/> チェックなし：なし

※ TELNET 接続の場合、‘画面サイズ’を変更した時は [3] TELNET の ‘ターミナルタイプ’ を下記のように変更して下さい。

80x24 → tx0860 126x46 → tx0860_46
132x24 → tx0860w 168x62 → tx0860_60


[6] 文字色

標準となる文字色と、点滅表示、強調表示の時の文字色を選択します。



※ 表示サンプルは、入力の都度、選択した色で表示されます。

■ 項目説明

( = 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	標準文字色	・白 ・黄 ・シアン ・緑 ・マゼンタ ・赤 ・青 ・黒
2	標準背景色	・白 ・黄 ・シアン ・緑 ・マゼンタ ・赤 ・青 ・黒
3	点滅文字色	・チェックあり：標準文字色に合わせます。 ・チェックなし：次の色から選択します。 ----- ・白 ・黄 ・シアン ・緑 ・マゼンタ ・赤 ・青 ・黒
4	点滅背景色	・チェックあり：標準背景色に合わせます。 ・チェックなし：次の色から選択します。 ----- ・白 ・黄 ・シアン ・緑 ・マゼンタ ・赤 ・青 ・黒
5	強調文字色	・チェックあり：標準文字色に合わせます。 ・チェックなし：次の色から選択します。 ----- ・白 ・黄 ・シアン ・緑 ・マゼンタ ・赤 ・青 ・黒
6	強調背景色	・チェックあり：標準背景色に合わせます。 ・チェックなし：次の色から選択します。 ----- ・白 ・黄 ・シアン ・緑 ・マゼンタ ・赤 ・青 ・黒

[7] キー定義1

ファンクションキー (F1~F6) に割当てて文字列を登録します。



■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	F1	以下の文字を制御文字として使用できます。 ¥r : 復帰, Enter ¥n : 改行 ¥f : 改頁 ¥t : TAB ¥e : ESC ¥b : バックスペース ¥x : HEX ¥¥ : ¥ 【例】ハードコピー (Ctrl + P) の場合 ⇒ ¥x10
2	F2	
3	F3	
4	F4	
5	F5	
6	F6	

[8] キー定義2

ファンクションキー（F7～F12）に割当てて文字列を登録します。



■ 項目説明

(= 初期値)

No.	画面項目名	入力方法
1	F7	以下の文字を制御文字として使用できます。 ¥r : 復帰, Enter ¥n : 改行 ¥f : 改頁 ¥t : TAB ¥e : ESC ¥b : バックスペース ¥x : HEX ¥¥ : ¥ 【例】ハードコピー (Ctrl + P) の場合 ⇒ ¥x10
2	F8	
3	F9	
4	F10	
5	F11	
6	F12	

[9] バージョン情報

バージョン情報を表示します。

